



ホームページ



Twitter

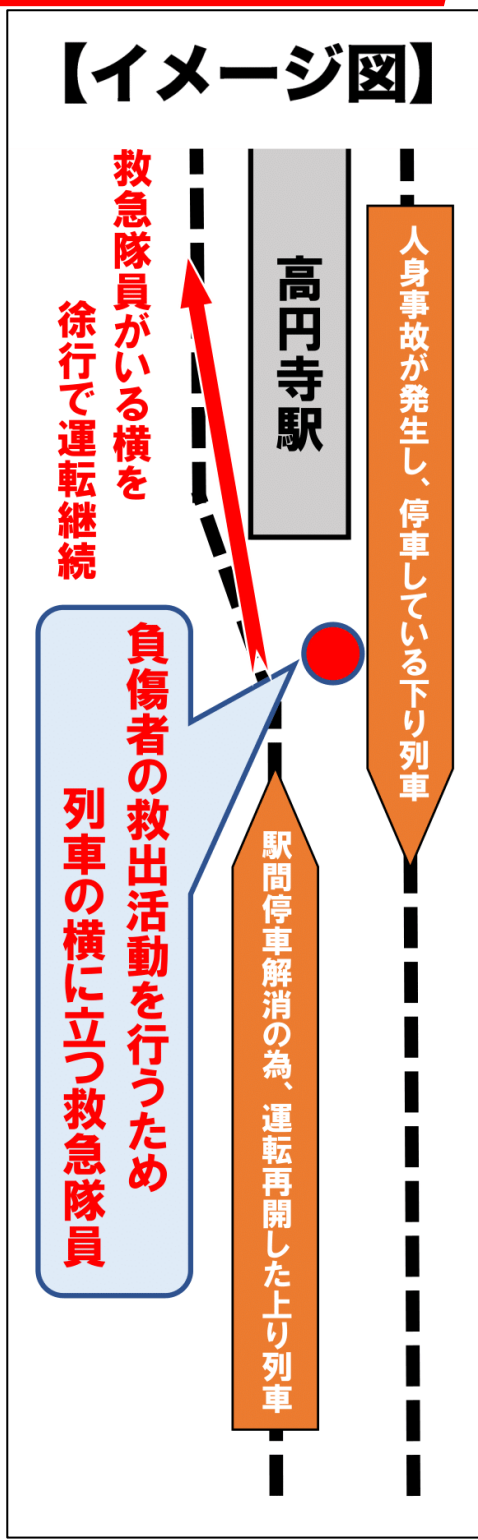
あわや「東海道線救急隊員死傷事故」の再来 人身事故の救出活動中、対向列車が通過!

9月24日、中央快速線高円寺駅を通過する下り列車にて人身事故が発生し、ホームを超えた場所で停車しました。阿佐ヶ谷～高円寺駅間で停車した上り列車の長時間駅間停車を解消するため、指令所より運転再開の指示が出されました。下り線では救急隊が線路に降り負傷者の救出活動を行っている最中、対向の上り列車がその横を通過するという事象が発生しました。

2002年11月6日、JR西日本 東海道線塚本～尼崎間で人身事故が発生し、救出活動を行っていた救急隊が後続列車の特急と接触し2名が死傷した「東海道線救急隊員死傷事故」を彷彿させる事象と言えます。駅社員・運転士・指令員との間で連絡の不備があり、現場の状況が分からないまま運転再開を指示し特急列車が通過した事によって発生した事故でした。

事故当時「運転見合わせによる乗客からの苦情を恐れ、安全確保よりも運行が優先された」との指摘がされましたが、今のJR東日本会社の姿勢もまさに同等の風土となっていると言わざるを得ません。

鉄道会社にとって何よりも「安全」が第一でなくてはなりません。相次ぐ事故・事象の連鎖を止めるため原因の究明と、再発防止に向けた具体策を立てるための議論を行っていきます。



安全風土再確立に向け、すべての仲間と議論しよう!